

東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

## 東日本大震災東松島市被災状況写真集

# 震災関連記録集

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会  
生涯学習課 東松島市図書館

## 東日本大震災東松島市被災状況写真集について

東松島市内で撮影された写真を中心に収集し、以下のようなメタデータを付与しました。  
地区・目標物・日付・テーマごとに整理し、1冊ずつの電子写真集として公開しています。

### メタデータ付与内容

(1) 地区コード・目標物 (2) 記録区分コード (3) 寄贈者 No (4) 写真 No (5) 寄贈者・日付・内容

【例】

矢本地区・蔵しっくパーク\_震災時\_東松島太郎\_写真 No\_東松島太郎\_2011.3.11\_北側玄関

0420\_2\_001\_000001\_東松島太郎\_2011.3.11\_北側玄関

(1)地区コード : 31地区

(2)記録区分コード : ①震災前 ②震災～1か月 ③1か月～2か月 ④2か月以上  
⑤2012.5.1～ ⑥2013.4.1～ ⑦2014.4.1～

※写真の中でご本人・ご家族が掲載され希望されない場合はお手数でも下記までご連絡を頂ければ幸いです。  
また、こちらをご覧になれる方は震災当時を思い出し体調を害される場合がありますのでご注意ください。

問合せ先:宮城県 東松島市図書館 TEL 0225-82-1120(火～金曜日 10:00～18:00)





石巻市火災消防本部によると15日現在で  
 確認された被災状況は、石巻市南浜地区  
 門崎町3丁目、鮎川地区の2千名を合せ帯  
 まはしの5千名、避難所への避難人数は旧市内  
 で106ヶ所、3万5千6百39人。  
 このうち指定避難所など約30ヶ所は15日午後  
 現在避難者名簿を没害。また同日、石巻  
 再修文字に「ボランティアセンター」を設けた。  
 同本部では避難所の運営にあたるボランティア  
 の協力を呼び掛けている。直接、石巻専修大  
 で受け付けて下すとのこと。

**石巻日日新聞**  
 号外

**情報を送**  
 石巻市は14日、15日は連日、午前5時から午後7時  
 避難所の避難者名簿を放送している。  
 避難所の受け付けは日中公園駐車場とラジオ石巻で行う。

**介護ボランティア求む**  
 石巻市では各避難所に介護の必要な  
 人がいたら偏りしてほしいと呼び掛けている。  
 ボランティアが不足している避難所は次  
 通り。  
 ・住吉小学校 ・石巻南校  
 ・石巻中学校 ・住吉中学校  
 ・中里小学校 ・門崎中学校  
 ・鹿妻小学校 ・湊小学校  
 ・瘦腰小学校 ・好文館南校  
 ・青葉中学校 ・大衛道小学校  
 ・釜小学校 以上。

**商店主らが炊き出し**  
 石巻市立町の商店、飲食店の有らから  
 12日から炊き出しを行い、汁ものや食材  
 を無料で提供している。

宮城県東松島市

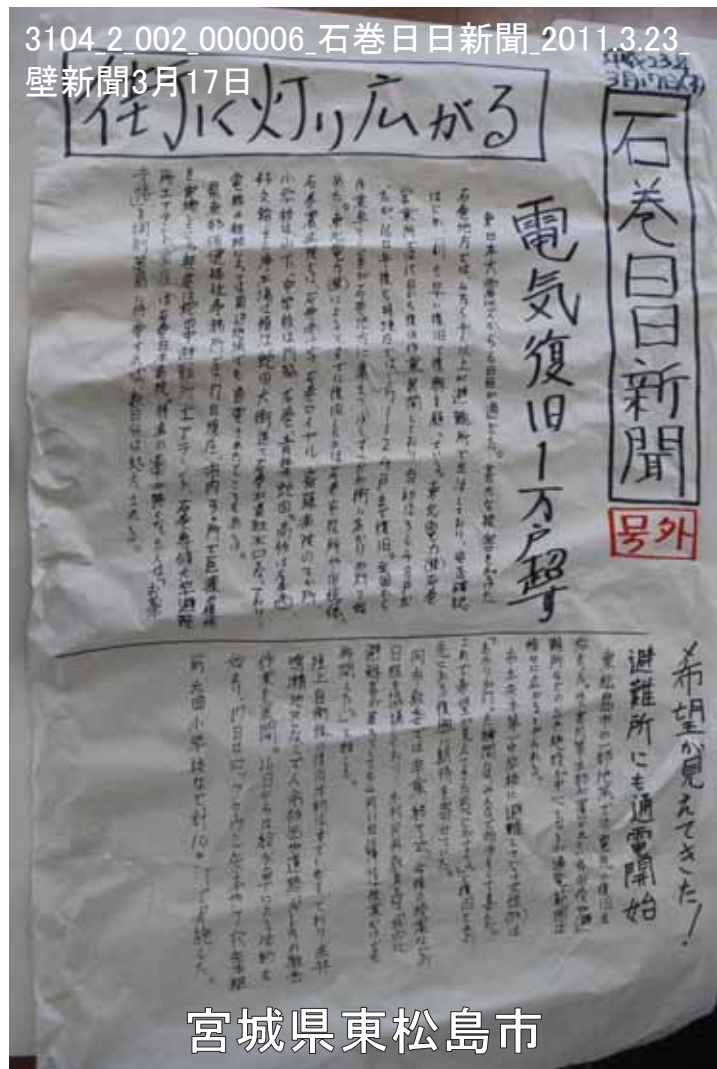
石巻市火災消防本部によると16日現在で  
 確認された被災状況は、石巻市南浜地区  
 門崎町3丁目、鮎川地区の2千名を合せ帯  
 まはしの5千名、避難所への避難人数は旧市内  
 で106ヶ所、3万5千6百39人。  
 このうち指定避難所など約30ヶ所は15日午後  
 現在避難者名簿を没害。また同日、石巻  
 再修文字に「ボランティアセンター」を設けた。  
 同本部では避難所の運営にあたるボランティア  
 の協力を呼び掛けている。直接、石巻専修大  
 で受け付けて下すとのこと。

**石巻日日新聞**  
 号外

**全国から激励のメッセージ**  
 石巻市火災消防本部によると16日現在で  
 確認された被災状況は、石巻市南浜地区  
 門崎町3丁目、鮎川地区の2千名を合せ帯  
 まはしの5千名、避難所への避難人数は旧市内  
 で106ヶ所、3万5千6百39人。  
 このうち指定避難所など約30ヶ所は15日午後  
 現在避難者名簿を没害。また同日、石巻  
 再修文字に「ボランティアセンター」を設けた。  
 同本部では避難所の運営にあたるボランティア  
 の協力を呼び掛けている。直接、石巻専修大  
 で受け付けて下すとのこと。

**女川町5千人安全不明**  
 壊滅的被害を受けた女川町でも約5千人が安全  
 確認されず、約2千人は行方不明と推定され  
 ている。また知事、高松にある指定地は大分は被災  
 自覚などで停電している。和歌山県や新潟県など  
 ヘリコプターレスキュー隊、自衛隊などが被災地  
 へ派遣されている。避難所には避難者の中には  
 女性単身者や高齢者もいる。避難所の中には  
 配給活動を行っている。避難した住民の中には  
 津波にあり、屋根のたし、おぼろげ、同町の中心  
 たもの、近くを執行中の船舶は救助された人も  
 いる。未だに5千人に安全が不明のまま。

宮城県東松島市



東松島市一心

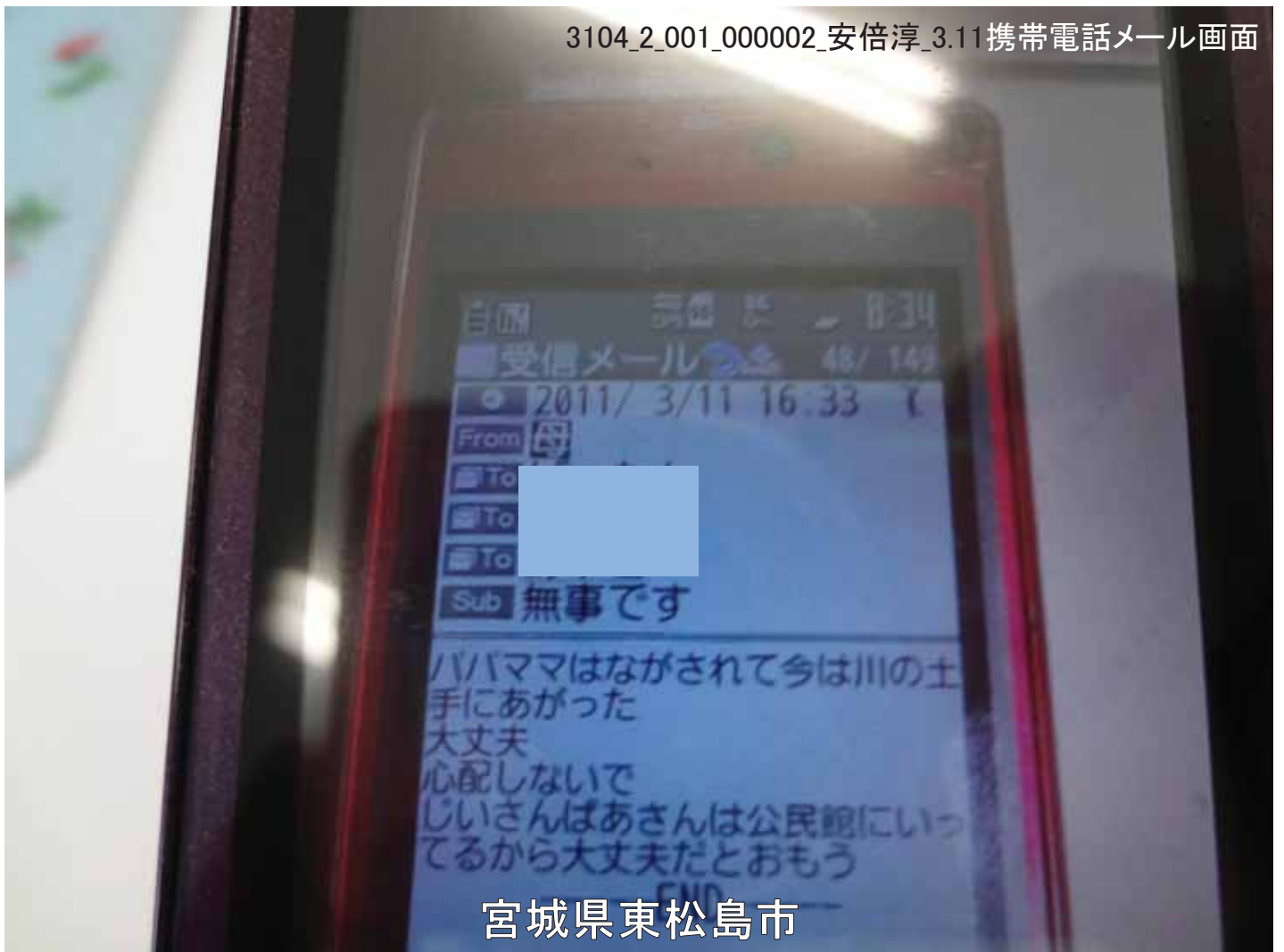
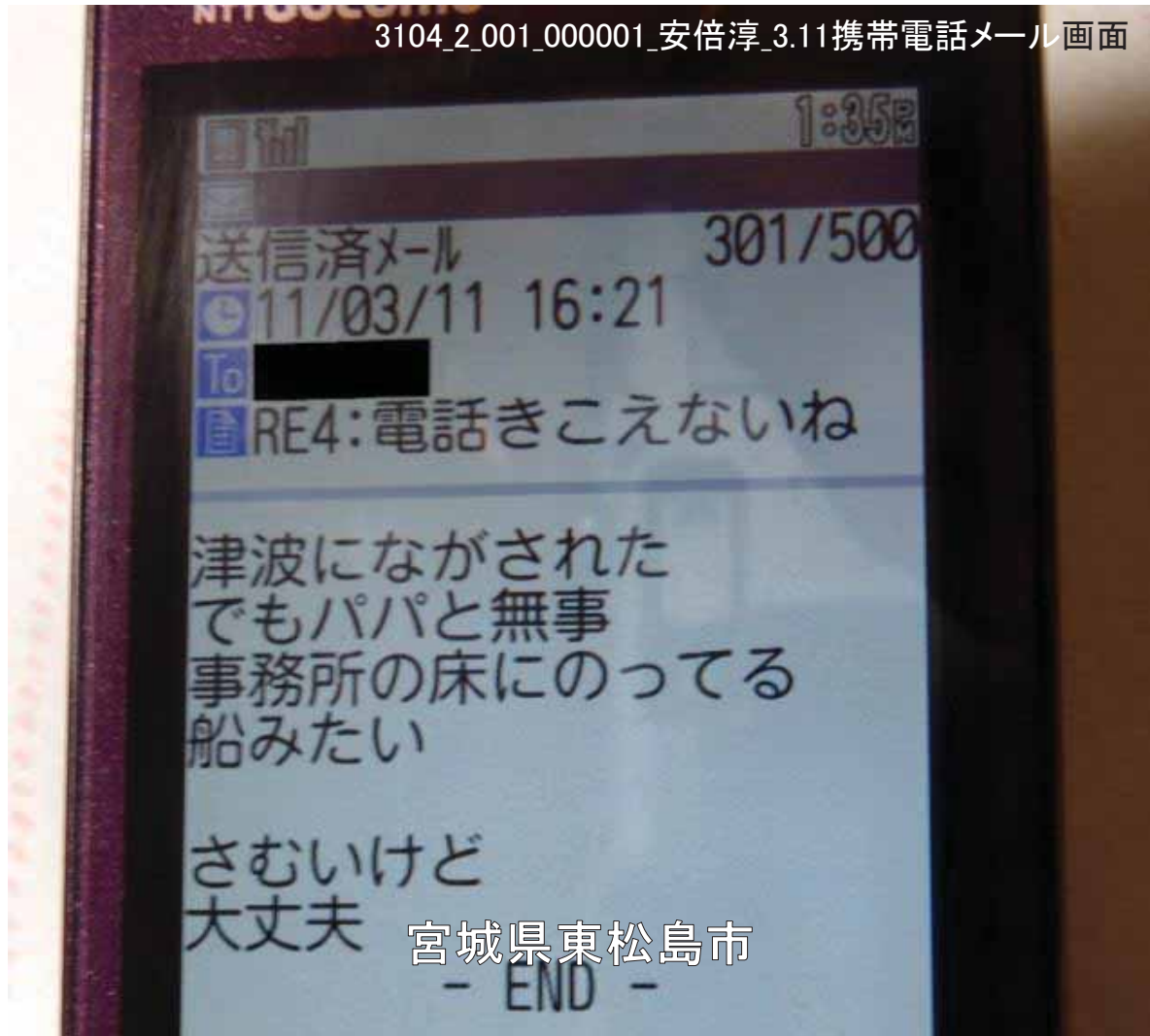
ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集  
**震災関連記録集**  
**震災当日のメール**

2011.3.11～2011.4.10

記録区分コード2

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会  
生涯学習課 東松島市図書館



東松島市一心

ICT地域の絆保存プロジェクト「東日本大震災を語り継ぐ」事業

東日本大震災東松島市被災状況写真集  
震災関連記録集  
体験記録

2011.5.11～2012.4.30

記録区分コード4

発行・編集 宮城県東松島市教育委員会  
生涯学習課 東松島市図書館

3104\_4\_018\_026045\_東松島市(広報)\_2012.2.1\_朝日海洋開発

「暗闇の中を歩いて避難する人たす」

被災した時、自宅の自衛隊病院に居た。(地元の人、手代末4年ほどに聞く)

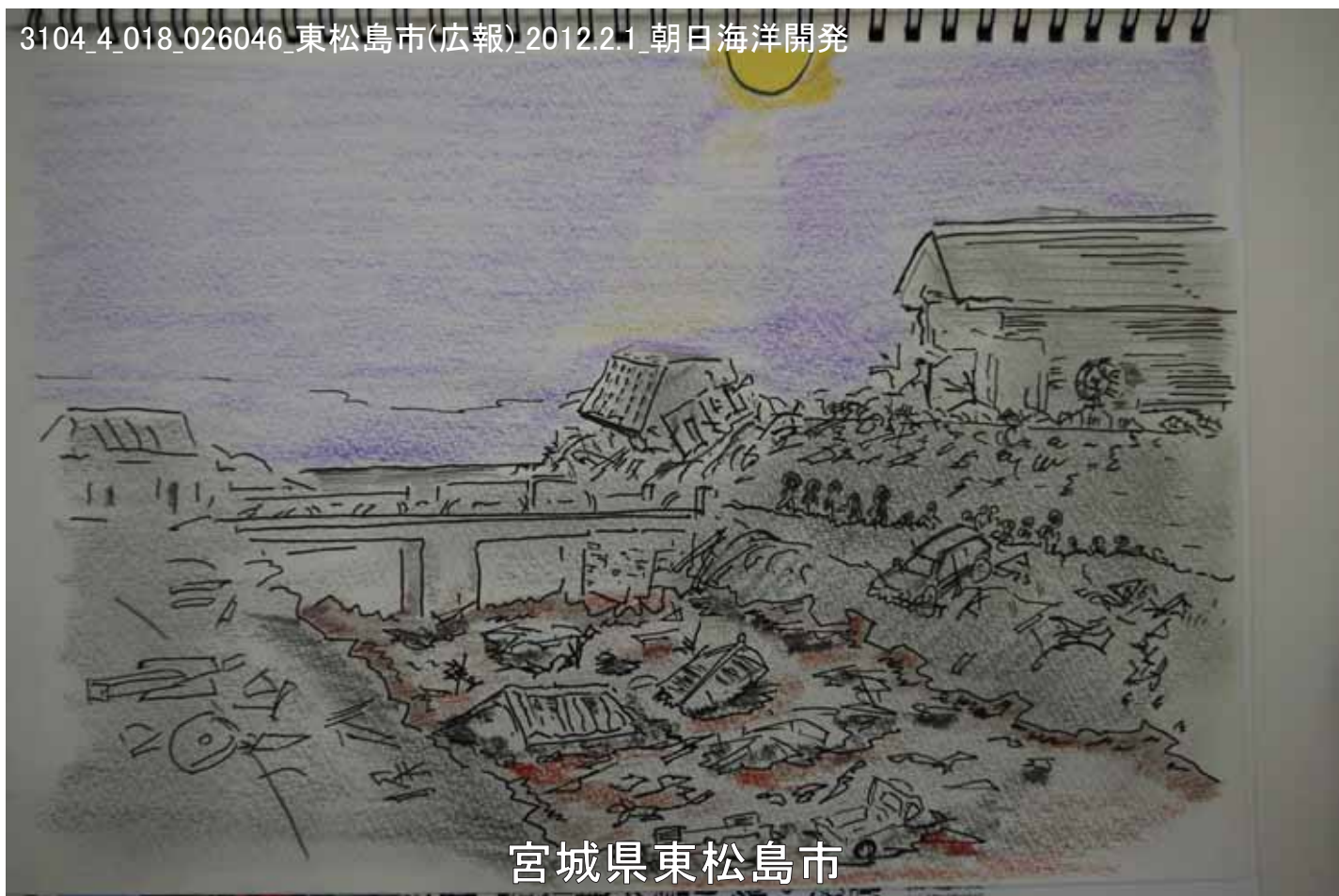
<中下地区へ移動>

東松島市 下町板付近

平成23年3月11日 午後7:00頃

宮城県東松島市

3104\_4\_018\_026046\_東松島市(広報)\_2012.2.1\_朝日海洋開発



宮城県東松島市

3104\_4\_018\_026047\_東松島市(広報)\_  
2012.2.1\_朝日海洋開発



沖波 宮城県東松島市

11/14/14 2011



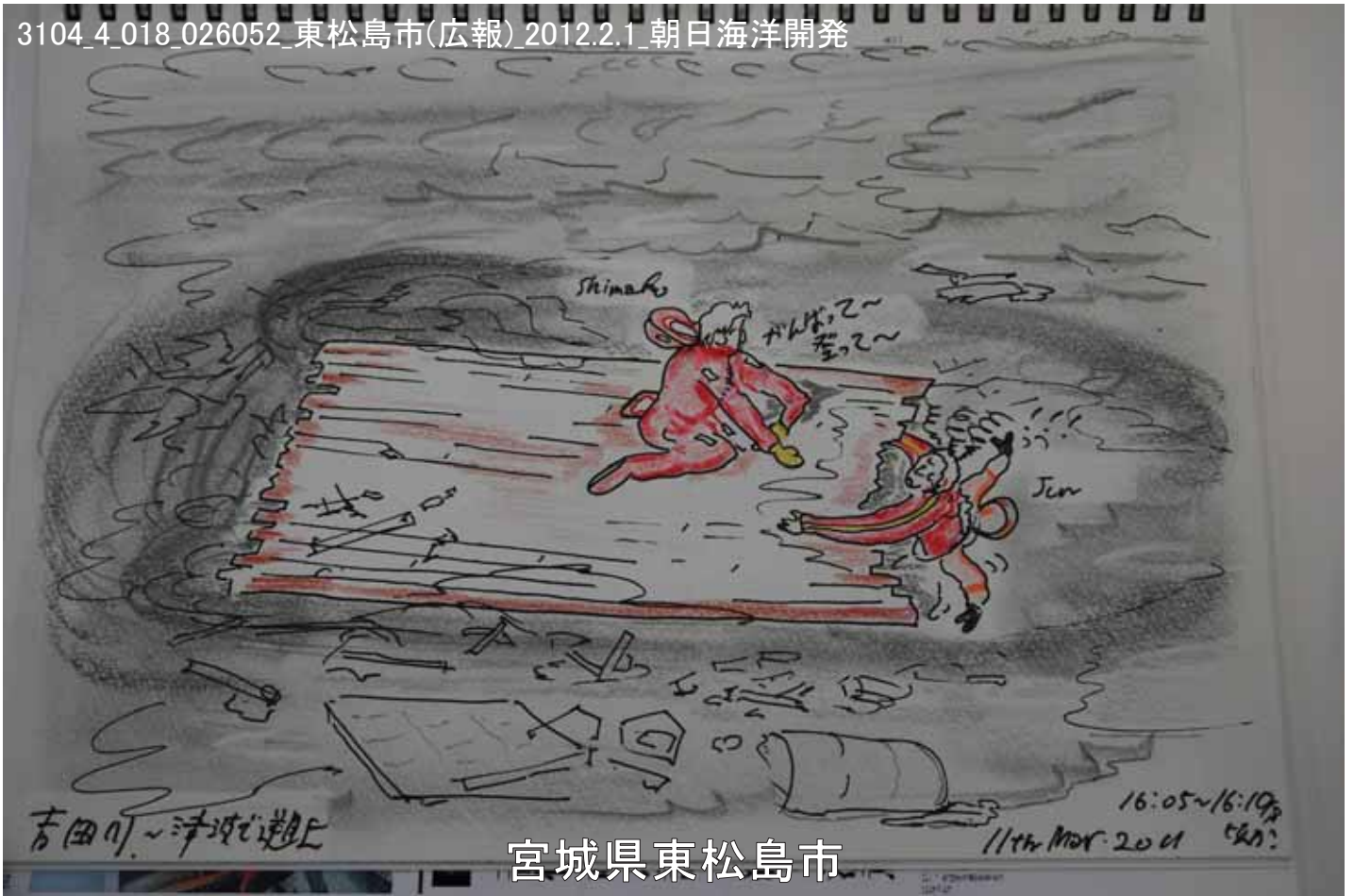
自然の力は常に想定外  
人は非力  
破壊と創造の中に生かされる  
生か死か...単純すぎる循環と  
その節理  
あ利にも人は非力  
奪われて与えられたもの  
「小さな命」

宮城県東松島市

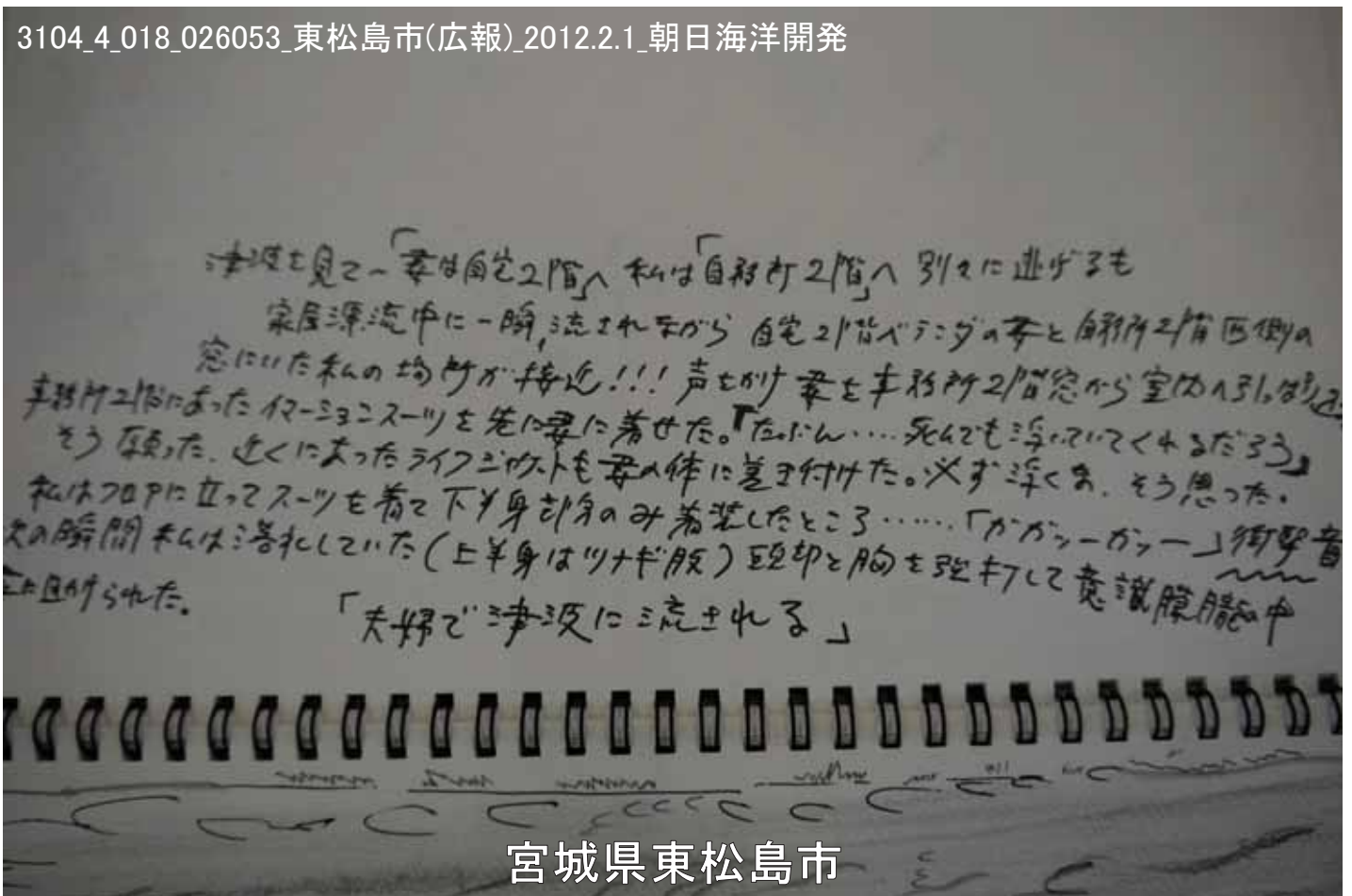
まさか!.....  
現実か? 夢か?  
状況も認識する余裕と  
時間が無い。しかし現実には進行する  
体が反応する  
「考える」~「評価」~「判断」する余裕はない  
体験と動物的反射のみで重なり  
体が反応する  
全てが安全にから生を実感  
「生きた」と感じた  
そう思った。

宮城県東松島市

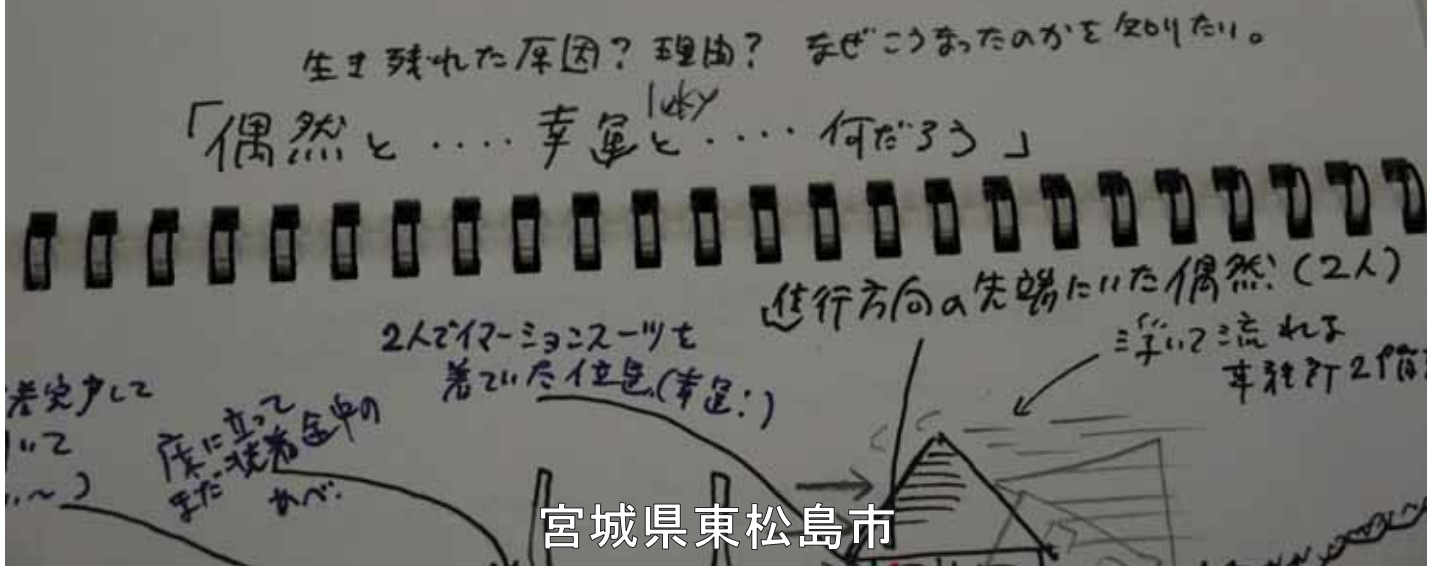




宮城県東松島市



宮城県東松島市



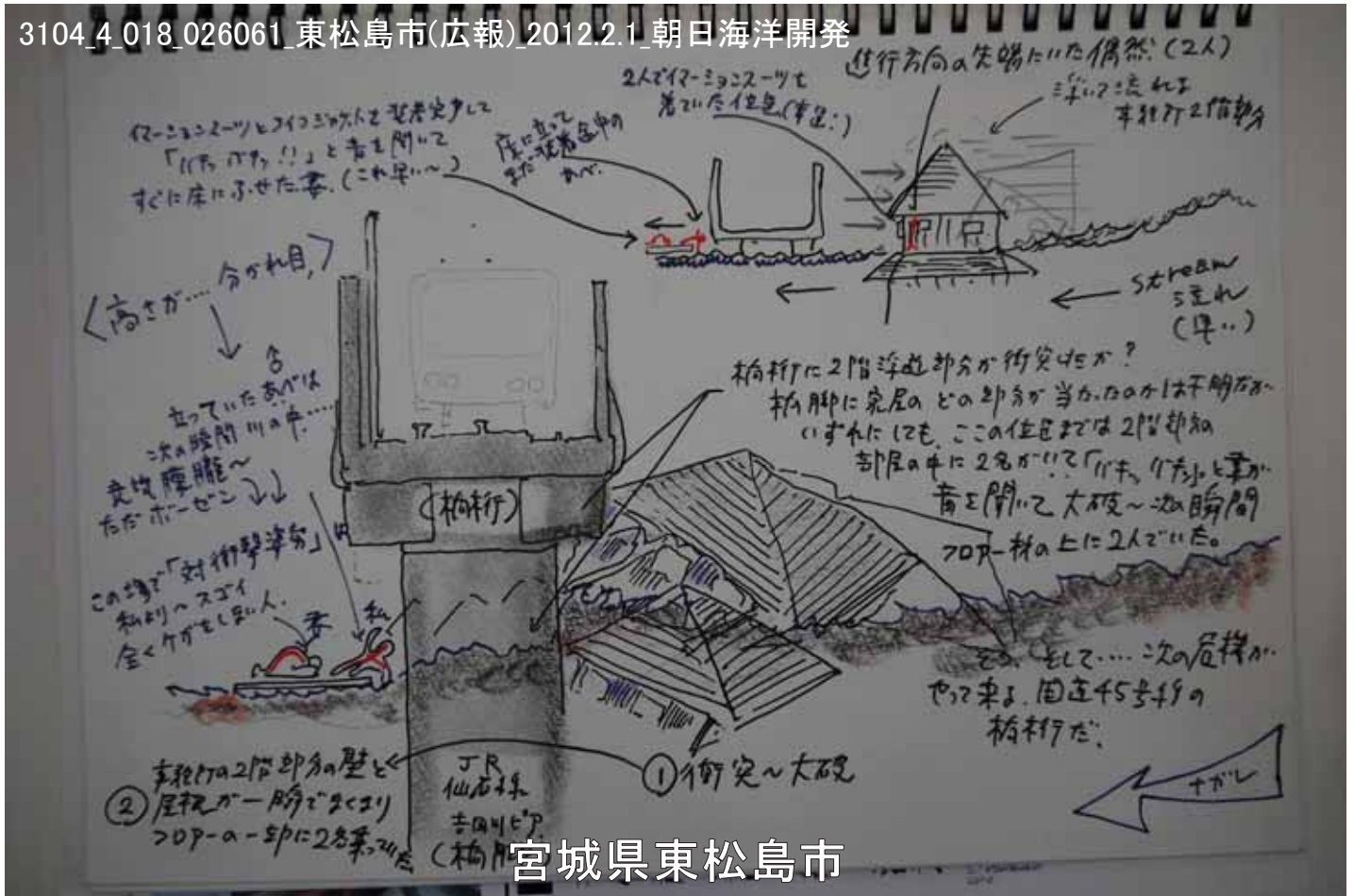




宮城県東松島市



宮城県東松島市



## 協力機関の紹介

この震災の写真集を整理するにあたり、以下の団体の協力を頂くことで公開することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

公益社団法人 日本図書館協会  
東日本大震災 震災対策委員会

学校法人 白百合学園  
白百合女子大学  
仙台白百合女子大学

# おわりに

2011年3月11日東日本大震災は多くの尊い人命を奪い、また、住民の生活やコミュニティの絆、伝統・文化・産業など、地域に基大な被害を及ぼしました。「復興への提言」(東日本大震災復興基本法に基づき、東日本大震災復興構想会議を設置)において、この大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し国内外に発信すると提言しています。

東松島市では4つの復興まちづくりの基本方針を定め復興を目指しております。

【1】防災・減災による災害に強いまちづくり ～防災自立都市の形成～

【2】支え合って安心して暮らせるまちづくり

【3】生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり

【4】持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり

【1】においては、防災・減災体制の強化に必要なこととして、津波体験の検証・共有化や、防災教育を徹底させることを挙げています。このことから、震災や津波の体験を風化させず、悲劇を繰り返さないためには、その「恐ろしさ」「威力」等について記録し、誰でも見ることができるよう、公開していく必要があります。そして、【3】においては、被災した産業、観光等の復興の促進を現在目指しています。このような中、被災地を観光で支援する人、修学旅行等で防災・減災学習として被災地を訪れる人が増えています。しかし、復旧が進み、土地は更地となり、震災前の人々の営み、震災の痕跡がなくなり、記憶の風化も否定できません。同時に、現状の被災地と震災当時の写真や映像等で定期的に実感したいとの希望もあります。

このことを踏まえ、東松島市では、図書館が平成24年度においては、公益財団法人図書館振興財団より助成を受けて以下の内容を構築し、平成25年5月より一部公開をはじめ、現在に至ります。

①震災の新聞記事スクラップ

②住民等が災害時に記録した写真

③被災住民の被災体験談や流された地域の文化や伝統を動画や音声による収録

④各種活動記録(避難所・仮設住宅等)やチラシ・回覧資料・学校便り等の収集

皆様からの物心両面に渡るあたたかいご支援を忘れないために、御恩を後世に残せるよう、発信ができることも念頭に内容の充実に努めています。引き続き皆様のあたたかいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東松島市図書館